

男性「グループホームいしずえ」開所2年を迎えて

平成27年2月に病院を退院後住まいが無い方や元の生活に戻ると断酒継続が困難な方、現在マックデイケアセンターに毎日の通所が困難な方がマックに通所しやすい



様にしたいとの思いからマックから徒歩5分の場所に「いしずえ」を開所しました。男性の依存症という病気の性格上、日夜の支援体制が必要と考え日勤1名、夜勤スタッフ3名を採用し入居者7名の施設としてスタート。開所時すでにマックに通所されていた方と病院を退院された方2名で始まり、4月に1名、

5月に1名、8月に2名、10月に1名と入所され10月で満床になり、28年4月より職員を日勤2名、夜勤4名体制に増員し適切な支援と職員の負担を軽減し利用者が安心して回復プログラムに集中出来る環境を提供して行きたいと考えています。現在までに延べ12名の利用が有り、いしずえを修了してアパートで新生活を開始した人が3名、新しく加わった仲間が4名で満床ですが現在仕事に就いて3月から5月にかけて3名の終了予定者もいます。みな最初は「ここが今日からの生活の場所です」と案内され不安いっぱい始めた共同生活、毎日、仲間とマックや夜のAAに通いアルコールや薬物依存症からの回復の為のミーティングに参加していしずえに帰って寝る事の繰り返し、こんな事で本当にお酒が止められて社会復帰出来るのか心配になったりもした事でしょう、でも1ヶ月が経ち飲まないでいる自分に気づき驚く、一人では考えられなかった事が仲間と一緒に行動する事によって自然と出来ている。飲まない使わない時間と同じだけの希望と自信が湧いて来る。

これが「グループホームの力」です。

いしずえは終わりの有る施設です、皆が協力しあい学びあいながら「飲まない使わない生き方」の基礎「礎」を作る場所としてスタッフ共々成長して行きたいと思えます。今後ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

いしずえ施設長 中川訓明



いしずえのページ 「また・・・やるぞお～」

以前、他のマックに入所をされていてソーバーを10年ほど続けていたのですが、仕事の問題、女性の問題、ギャンブル、私生活の問題が続き、AAにも出なくなってしまい、スリップをしてしまいました。なんとか自分一人でAAだけでやろうと思ったのですが、何度も失敗し「やっぱりマックに行かなければやり直しが出来ない」と思いスリップから約2年半後、昨年12月に「いしずえ」に入る事が出来「また、やり直せる」と強く思いました。今回のスリップで肝硬変、末梢神経をやられてしまい歩行が不自由になってしまいました。これらをゆっくり直して行き又、AAミーティングへの依存をしっかりと物にし、回復をめざして仲間と共に歩んでいきたいです。そして社会の中で一社会人として飲まない生き方が達成出来る様になりたいです。

M・I